

夢の翼



H 2 7 . 9 . 1 4 (月) [第 3 4 号]

☆ 『かさぎの祭 文化の部』

今週の18日(金)・19日(土)に『かさぎの祭 文化の部』が行われます。今年、第30回という節目の年ですが、英語で30年祭のことを pearl jubilee といい、結婚30周年の祝賀を真珠婚式と言うそうです。右のポスターは、美術部で2年E組の岩本優介君の作品です。岩本君は「遠い未来、人類が高度な科学技術を持っていて、地球に接近した惑星をも制御できるようになった時代をイメージしています。テーマが『無限の可能性』なので、惑星を制御できるという夢のような話は『無限の可能性』にピッタリだと思い描きました。その他にもメッセージなどを描きこんだので楽しんで見てもらいたい」と語っています。



☆ 『就職解禁制度』 ～ 高校生の就職試験始まる! ～

9/16(水)から就職試験が始まります。そこで、『就職解禁制度』について記載するので、就職希望者は、しっかりと胸に刻んでおきましょう。高校生の就職活動のポイントは、①求人票の公開(7/1以降)による会社(職場)見学等は7月～8月にかけて行われること。②応募や学校推薦は9月5日から行われること。③就職解禁日となる9月16日以降に求人企業の選考が始まることの3つです。このようにスケジュールに基づいた就活・採用活動の流れは、高校生にとって有意義な対応といえます。また、①から③の各段階で同じスタートラインに立たせ、公平・公正な就職活動を進めようとする目的もあります。

☆ 台湾学⑳ 『後藤新平と西郷菊次郎』

前回から日本の植民地となった台湾の発展に尽力し、「日台架け橋の人物」を取り上げています。右の色紙は、前回取り上げた後藤新平がボーイスカウト日本連盟初代総長だった時に子供たちに贈った言葉です。それは、『人の世話にならぬよう 人の世話をすよう



そして報いを求めぬよう』というもので『自助』『互助』『自制』を意味し、「自治三訣」と言います。これは、人を当てにせず自分の力と努力で頑張ることの大切さを表しています。まさに、“天は自ら助くる者を助く”なのです。

後藤新平が、台湾総督府民生局長であったほぼ同じ時期の1897年から5年間、台湾の宜蘭支庁長として赴任していたのが西郷菊次郎です。彼は、あの有名な西郷隆盛の長男で、後に京都市長(1904年)も務めた人物です。その西郷菊次郎がつくった堤防が「西郷堤防」の名で親しまれ、百年を過ぎた現在でもそのまま残っています。宜蘭市民を洪水の災害から救った菊次郎を讃える碑文が、現在も宜蘭川河畔に建つ「西郷庁憲徳政碑」に刻まれています。

